

<活動報告書>

フリガナ	ヒョウゴケンリツ トヨオカソウゴウ コウトウガッコウ	
①団体名・学校名	兵庫県立豊岡総合高等学校	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	環境建設工学科 教諭
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ	防災トーチの製作・寄贈	
④活動期間	令和4年 5月 ~ 令和5年 2月	
⑤活動内容を記載	<p>「防災トーチ」の製作や地域への発表・寄贈を通して、身近な材料である木材の特性や防災に対する基礎知識を身につけさせる。また製作の過程を通して、技術者としての倫理観を養うとともに工具等を扱う技能と安全への意識向上を目的としている。</p> <p>今年度は、昨年度製作した「防災トーチ」を改良し、近隣地域に防災に対する意識啓発を行うために取り組みを発表し、トーチを寄贈することになった。製作に関する改良点は、以下の3つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①より燃焼しやすくするように、排気口を大きくする ②より簡単に着火できるように、ロウソクを用いる ③本校他学科（総合学科、電機応用工学科）の技術を生かして、紹介動画や焼き印を製作する <p>以上3つの改良を加え、学校全体の取り組みとして製作した。</p> <p>製作後は、まず11月に行われた本校20周年記念式典を通じて、近隣中学校や地域へ寄贈した。また豊岡市防災課を通じて、豊岡市関貴市長へこの取り組みを発表した。市や地域に大変喜んでいただき、次年度も継続して取り組んでほしいとの要望も得ることができた。</p> <p>活動内容の詳細は、添付資料のとおりである。</p>	
⑥活動費用合計	256,080円	
⑦別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>

【写真1】



面取り



サンドペーパー



ドリルで削孔



V字に加工

(状況説明)

改良を加えながら生徒が製作している様子。週2時間の授業に加え、放課後や休日にも利用し、すべて手作りで製作した。また試作や失敗したものを加えると年間で約200以上のトーチを製作した。

初めて扱う工具で繊細な作業精度が求められるため、労力を費やしたが、生徒はモノづくりの大変さを実感したようであった。

【写真2】



防災トーチ (改良型)

使用説明書：表裏



防災トーチPR動画



使い方説明動画

(状況説明)

完成した防災トーチ。改良を加えたことで、より使いやすくなった。トーチ本体の木材は、ヒノキを使っている。

災害時には、コンロやストーブ、トーチとして使用。普段は玄関先などに置き、ヒノキによる脱臭効果やアロマ効果を期待している。

右のQRコードは、防災トーチの「PR動画」と「使い方説明動画」である。このQRコードは防災トーチの使用説明書についている。

【写真3】





(状況説明)

豊岡市防災課を通じて、豊岡市役所で関貴市長に取り組みを発表し、トーチを寄贈させていただいた。また近隣中学校や地域にも寄贈することができ、大変喜んでいただいた。トーチの持ち手となっている麻なわを着火材として使用していることや今年度の改良点について詳しく問われ、市役所内にも設置していただけることになった。引き続き、更に改良を加え次年度も継続して取り組んでほしいとの要望も得た。